COMPANY HISTRY

会社沿革

1946年 2月　静岡県沼津市三枚橋にて、木骨を主体としたトラックの運転台及び荷台の製作を主業として、山田恒策が個人創業
1951年 2月　静岡県沼津市本錦町に、有限会社山田ボデー設立、代表取締役社長に山田恒策が就任
1956年 2月　山田車体工業株式会社に改組、資本金150万円
1961年 8月　神奈川県横浜市戸塚区に、オールスチール運転台の量産工場として、横浜工場を新設
1964年 4月　シャーシメーカー向け中小型平ボデーの量産開始
1964年10月　静岡県沼津市松長に本社及び沼津工場を新設移転
1969年 4月　資本金4250万円に増資。中小型平ボデー量産、月産1000台達成
1969年 8月　宮城県富谷町に仙台工場を新設
1971年 2月　茨城県茨城町に水戸工場を新設
1974年 5月　三八五貨物自動車運送株式会社（現・三八五流通株式会社）と業務提携し、青森県五戸町に東北山田車体工業株式会社を設立
1975年 4月　フラップボデー生産開始
1983年 1月　代表取締役社長に山田健雄が就任
1983年 6月　ルーフ全体昇降機能付きフルリフトフラップ生産開始
1985年 1月　ルーフオーバーターン機能付き反転ルーフフラップ生産開始
1986年 4月　フラップボデー生産累計1000台達成
1988年11月　シャーシメーカー向け中小型平ボデー量産終了
1992年 9月　フラップボデー生産累計5000台達成
1999年 4月　フラップボデー生産累計10000台達成
1999年12月　横浜工場を閉鎖
2002年10月　第36回東京モーターショーにフルリフトフラップを出展
2003年 4月　代表取締役社長に山田和典が就任
2005年 9月　障害者の雇用・促進・職業の安定に貢献し、厚生労働大臣より表彰
2007年 9月　本社沼津工場が環境マネジメントシステム「エコアクション21」を認証・登録
2009年 3月　日本自動車車体工業会「環境基準適合」ラベル（平ボデー車）取得
2009年 6月　日本自動車車体工業会「環境基準適合」ラベル（ドライウイング車）取得
2009年 9月　水戸工場が関連事業所として環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証・登録
2009年 9月　本社沼津工場にて鉄工第１工場・鉄工第２工場新築２棟完成、稼働開始
2010年12月　日本自動車車体工業会「環境基準適合」ラベル（冷凍ウイング車）（サイドカーテン車）取得
2012年 4月　日本自動車車体工業会取り組み基準の環境負荷物質SOC4物質）フリー化達成
2012年 9月　水戸工場が関連事業所として環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証・登録
2015年 9月　神奈川県厚木市に神奈川営業所を新設
2016年 7月　神奈川県愛川町に神奈川工場新設、神奈川営業所同所移転
2016年10月　日本自動車車体工業会「新環境基準適合」ラベル（平ボデー車）取得
2016年11月　宮城県仙台市に仙台日の出町工場を新設
2017年 3月　中村実業とパートナーシップを結び、広開口オーパーターン機能付きZフラップ9：1の生産を開始
2017年 9月　神奈川工場が関連事業所として環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証・登録
2017年10月　第45回東京モーターショー2017にZフラップ9:1を出展
2017年12月　経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定される。
2018年 9月　仙台日の出町工場が関連事業所として環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証・登録
2020年 1月　有限会社小田切車体（秋田県大館市）の全株式を取得、当グループ企業に
2021年 9月　小田切車体より技術提供を受け平行スライドボデーの生産を開始
2021年11月　小田切車体より技術提供を受けチキンリフターの生産を開始
2023年10月　ジャパンモビリティショー2023に温度管理フルリフトフラップを出展
2024年 2月　小田切車体岩手工場を分離し、山田車体工業岩手工場として組み入れる
2024年 4月　国際養鶏養豚総合展2024にチキンリフター出展（株式会社大宮製作所様ブースにて）
2024年 9月　岩手工場が関連事業所として環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証・登録
2024年10月　仙台日の出町工場を閉鎖し、業務を仙台工場へ集約